

領域	対象	今年度の重点目標	目標実現のための評価の観点
教育活動	学習指導	○創意工夫した授業改善による学習指導の充実	☆主体的・対話的で深い学びの <u>実装</u> に向けた取組の一層の充実により、生徒が何をどのように学ぶか、何ができるようになったかを把握している。
		○家庭学習の定着	☆日常的な課題提示の工夫やスタディ・サブリを活用した <u>自己調整学習</u> を毎月の定点観測を効果的に活用して、家庭学習の習慣化を図っている。
	生徒指導	○多様性を包摂し、個性が輝く教育が実現できる環境づくりの推進	☆優しさと思いやりの心を育み、共感的・共生的な人間関係を構築することで <u>いじめのない安全・安心な学校づくり</u> をしている。
		○生活態度の健全化と人間的成長	☆基本的な生活習慣や善悪の判断を身に付けさせ、自己肯定力や自己管理能力を育成している。
	進路指導	○実効性のあるキャリア教育の推進	☆ <u>静高タイム</u> を活用するなどし、きめ細かな個に応じた進路指導を行うとともに、計画的で組織的なキャリア教育に反映している。
		○積極的な進路情報の提供と共有化	☆校内外研修で理解を深めた最新の入試情報・就職情報を積極的に生徒及び保護者へ提供している。

学校運営	信頼される学校づくり	○学びたい、学ばせたい、 <u>通わせたい、地域に必要な学校づくりの推進</u>	☆ <u>学校運営協議会・学校コンソーシアム</u> を活用し、地域社会・共生社会を担う人材育成という本校の社会的役割を發揮している。 ☆本校の教育活動や実践等を学校だよりやHP等を通じ、家庭・地域へ適時かつ効果的に発信・ <u>受信</u> している。
		○効果的な小中高連携推進	☆中学校訪問・学校説明会・生徒による学習支援等をとおして本校の「良さ」や「強み」を中学生や保護者・地域へ十分伝えている。 ☆地域の教育委員会と連携し、小中高の校種間の緊密な連携を図っている。
	組織運営	○協働体制による円滑な学校運営の実施	☆学校課題を共有し、年次・分掌が連携して協働体制により組織的・計画的に各運営事項を実践している。
		○カリキュラム・マネジメントの推進	☆育成を目指す資質・能力を明確化し、教育課程をP D C Aサイクルに位置付けている。
	教職員の資質向上	○研修体制の充実	☆学校課題解決、指定事業及び教職員の資質向上に向けた研修報告及び校内研修を組織的・計画的に実施している。 ☆授業公開週間に限らず、日常から授業を参観し合いながら、自身の授業改善に努めている。
		○服務規律保持のに向けた取組の推進	☆通知や報道記事による迅速かつ適切な啓発を行うとともに、服務規律に対する意識をより一層高める実効性のある取組を実施している。

		○働き方改革を意識した効率的な業務の推進	☆コアチームを中心に、働き方改革の趣旨を生かした業務の効率化を推進している。前年度より在校等時間の縮減を図っている。
--	--	----------------------	--